

医師会 健康講座

動悸について

山本内科医院（本町追手） 山本 光明



心臓は1日におよそ10万回拍動して

いますが、ふだん私たちはこれを感じることはありません。人は何らかの理由で心臓の拍動を意識するか不快に感じるとき、「動悸がする」「ドキドキする」と感じます。規則的な拍動を強く意識する場合、拍動が異常に速くなる場合、さらに心臓の調律の乱れである不整脈を「脈が乱れている」と感じる場合があります。

合はこの限りではありません。

動悸は、原因により心臓性、全身疾患性、薬剤によるもの、精神的ストレスによるものなどに分けられます。心臓に起因する動悸は最も頻度が高く、重要です。よくみられる不整脈のひとつは期外収縮というもので、「脈がとぶ」「心臓がドキンとす」などと表現されることがあります。期外収縮の大多数は無害で放置してよいことが多いのですが、心筋梗塞や心筋症などの心疾患に伴う場

合は「発作性上室頻拍」という不整脈が考えられます。高齢者の場合は「発作性心房細動」という不整脈が考えられます。この場合、脈をとるとバラバラで数えにくいのが特徴です。心房細動が持続すると症状が乏しくなるのが普通です。また、家庭用血圧計でエラーの表示が出るときには一度心房細動を疑ってみる必要があります。心房細動は一時的であり、持続性であれ重篤な脳梗塞の原因になることがあるので、診断と治療が大切です。これらの不整脈は、発作時でなければ、1回の心電図検査で診断することは難しいと思えます。

24時間の心電図を記録するもので、

より不整脈の診断がしやすくなります。装着したまま仕事や運動、入浴も可能です。不整脈はそれ自身の診断も重要ですが、原因となる心臓病が隠れていないかを調べる必要があります。心不全や虚血性心疾患、心筋症、心臓弁膜症など重症の心疾患では不整脈がなくとも、動悸を感じることがあり、詳しい検査が必要です。動悸に伴い気が遠くなるか、失神を一度でも経験した人、あるいは家に突然死した人がいる場合にも精査が必要です。

たとえば甲状腺機能亢進症を疑います。青白い顔で動悸や息切れを訴える人はかなり重い貧血でしょう。また、喘息の治療薬など薬剤が動悸の原因であることもあり注意が必要です。

心臓がドキドキして心配なあなた、ぜひ一度循環器科を訪れてください。



心電図を持続的に記録するものに、ホルター心電計があります。これは、小さな心電計を体に装着して

心臓以外の病気や状態でも動悸を自覚することがあります。パニック障害や強度の緊張、過度のアルコールやカフェインの摂取でもドキドキするでしょう。若い女性が首を腫らして、汗を流しながらドキドキする